PRO CHEF

ＩＨ餃子焼き器

取 扱 説 明 書

IH餃子焼き器

型式 ／ DG22WA

もくじ

■安全上のご注意……１
■各部のなまえ……４
●本体……４
●操作パネル……５
●付属品……６
■お使いになる前に……７
●据付工事終了時の確認……７
●運転前の確認……７
■ご使用方法……８
●運転前の手順……８
●運転の手順……１０
●予熱設定の手順……１１
●調理設定の手順……１２
■お手入れ……１３
●日常のお手入れ……１３
■点検……１４
●１ヶ月に１回の点検……１４
●年に１～２回の点検……１４
●保管方法……１４
■移設・譲渡・廃棄……１５
■故障の見分け方と処置方法……１６
■仕様……１７
■設置・工事……１８
■メモ……２１
保証書・アフターサービスについて……巻末

●このたびは、プロシェフＩＨ餃子焼き器をお買い求めいただきましてまことにありがとうございました。

●この製品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。なお、正しくご使用されなかった場合は、保証対象外となります。

●お読みになったあとは必ずいつもお手元においてご使用ください。

CHUBU
株式会社 中部コーポレーション

■安全上のご注意

●ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使い下さい。
●ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守って下さい。
●表示と意味は次のようになっています。

⚠ **警告**	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が、想定される内容を示します。
⚠ **注意**	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が、想定される内容を示します。

＊物的損害とは、家屋・家財および家畜ペットにかかわる拡大損害を示します。

図記号の例

感電注意	△は注意（危険・警告を含む）を示します。 具体的な注意内容は、△の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「感電注意」を示します。
分解禁止	⃠ は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体意的な禁止内容は、⃠ の中や近くに絵や文字で示します。 左図の場合は「分解禁止」を示します。
アース工事	●は、強制（必ずすること）を示します。 具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「アース工事を必ず行うこと」を示します。

⚠ 警　告

●お手元に届いたら、すぐに運送上の損傷がないかチェックすること
もし損傷があれば販売会社へ損傷の状況を（梱包箱と共に）連絡してください。損傷のまま使用しますと、感電、火災、ケガの原因となります。

損傷確認

●据付工事は専門業者に依頼すること
据付工事に不備があると水漏れや感電、火災などの原因になります。

専門業者

●修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理しないこと
異常動作してケガをしたり、修理に不備があると感電、火災などの原因になります。

分解禁止

警　告

●電源コードを傷つけたり、汚さないこと

加工したり、引張ったり、束ねたり、重いものを載せたり、挟み込んだり、また汚したりすると、電源コードが破損し、感電、火災の原因になります。

禁　止

●屋外で使用しないこと

雨水のかかる場所で使用すると、漏電・感電の原因になります。

屋外禁止

●振動、衝撃の多い場所には設置しないこと

機器が故障し、火災・漏電の原因になります。

禁　止

●粉塵、オイルミストの多い場所には設置しないこと

機器が故障し、火災・漏電の原因になります。

禁　止

●心臓用ペースメーカーをご使用の方が、本機をご使用される場合は、心臓用ペースメーカーの取扱説明書及び担当医師の指示に従うこと

本機の動作がペースメーカーに影響を与える恐れがあります。

医師と相談

●本体に水をかけないこと

漏電・感電・火災の原因になります。

水かけ禁止

●濡れた手で漏電ブレーカーなど電気部品に触れたり、スイッチ類を操作しないこと

感電の原因になります。

濡手禁止

●可燃物や引火物を機器のそばに置いたり、近づけたりしないこと

機器周辺に、可燃物（カーテンなど布類、新聞紙など紙類）や引火物（エアゾール缶など）を置くと、爆発・火災の原因になります。

禁　止

●調理中は事故防止のため、そばを離れないこと

調理中その場を離れると食材が焦げたり、発火したりして火災の原因になります。

禁　止

●運転中・運転後は、操作部以外に触れないこと

運転中・運転後は、高温になっている恐れがあるので、操作部以外に触れるとヤケドの原因になります。清掃などによりやむを得ず触れる場合は、冷めた事を十分ご確認下さい。

接触禁止

●専用の部品（焼成皿・焼成皿用蓋・皿ガイド等）以外を使用しないこと

機器が破損し、漏電・感電・火災の原因になります。

禁　止

●子供など取扱に不慣れなかただけで使わせたり、幼児に触れさせたりしないこと

やけど・ケガ・感電の原因になります。

禁　止

●異常時は運転を停止し、元電源を切って、すぐに最寄の販売店へ連絡すること

異常のまま運転を続けると、感電・火災の原因になります。

元電源 OFF

注　意

●丈夫で平らな不燃構造の床の上に水平になるように据付けること
据付けに不備があると転倒・落下によるケガなどの原因になることがあります。

水平設置

●吸気フィルターに目詰まりがないこと
電気部品を損傷する原因になることがあります。

目詰注意

●吸気フィルターが取付けられていること
ユニット内にほこりなどがたまり、漏電・火災の原因になります。

取付厳守

●磁気製品を近づけないこと
磁気製品を近づけるとそれが壊れる場合があります。

禁　止

●長時間使用しない場合は漏電遮断器が「OFF」になっていることを確認すること
長時間、漏電遮断器が「ON」のままの場合、発熱・発火の原因になることがあります。

元電源 OFF

●調理中は水蒸気の噴出しに注意すること
調理中は大量の水蒸気が噴出するため、やけどに十分注意して下さい。

注　意

●給水口にストレーナー（付属）、パッキン（別途）を必ず取付けること
ストレーナーを取付けないと、電磁弁がつまり、水漏れの原因になります。

注　意

●付属品以外のものを本機に取付けないこと
焼成皿・焼成皿用蓋・皿ガイドなど付属品以外のものを本機に取付けると、誤作動を起こし、
正常な運転ができなくなる恐れがあります。

禁　止

**●このお使いになっている製品を他に売ったり、譲渡されるときは、
新しく所有者となる方が安全な正しい使い方を知るために、この
取扱説明書を製品の目立つ所にテープ止めすること**

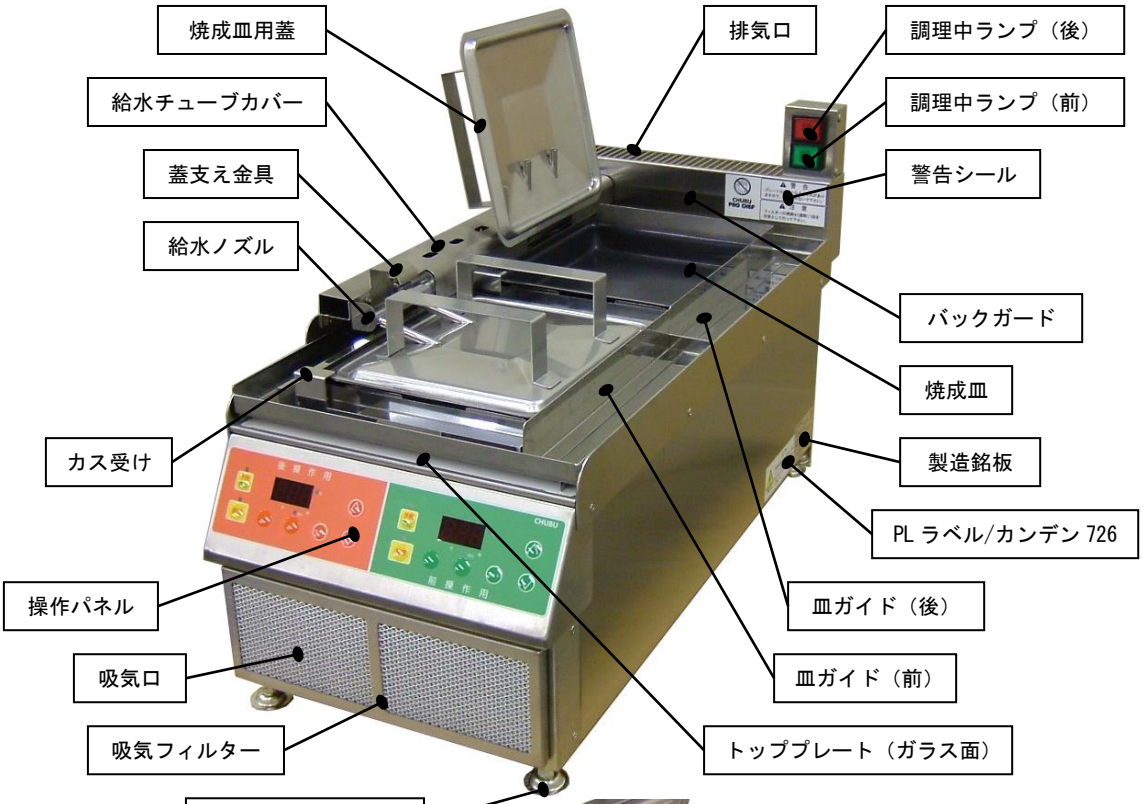
ﾃｰﾌﾟ止め

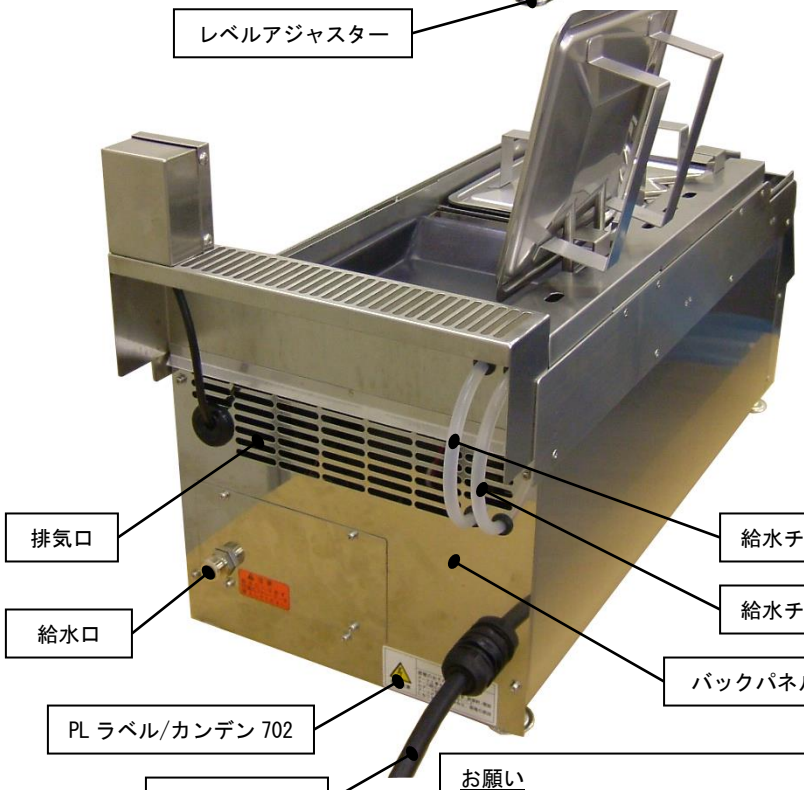
●廃棄は専門の業者か、最寄の販売会社に依頼すること
放置しますとケガの原因になることがあります。

専門業者

■各部のなまえ

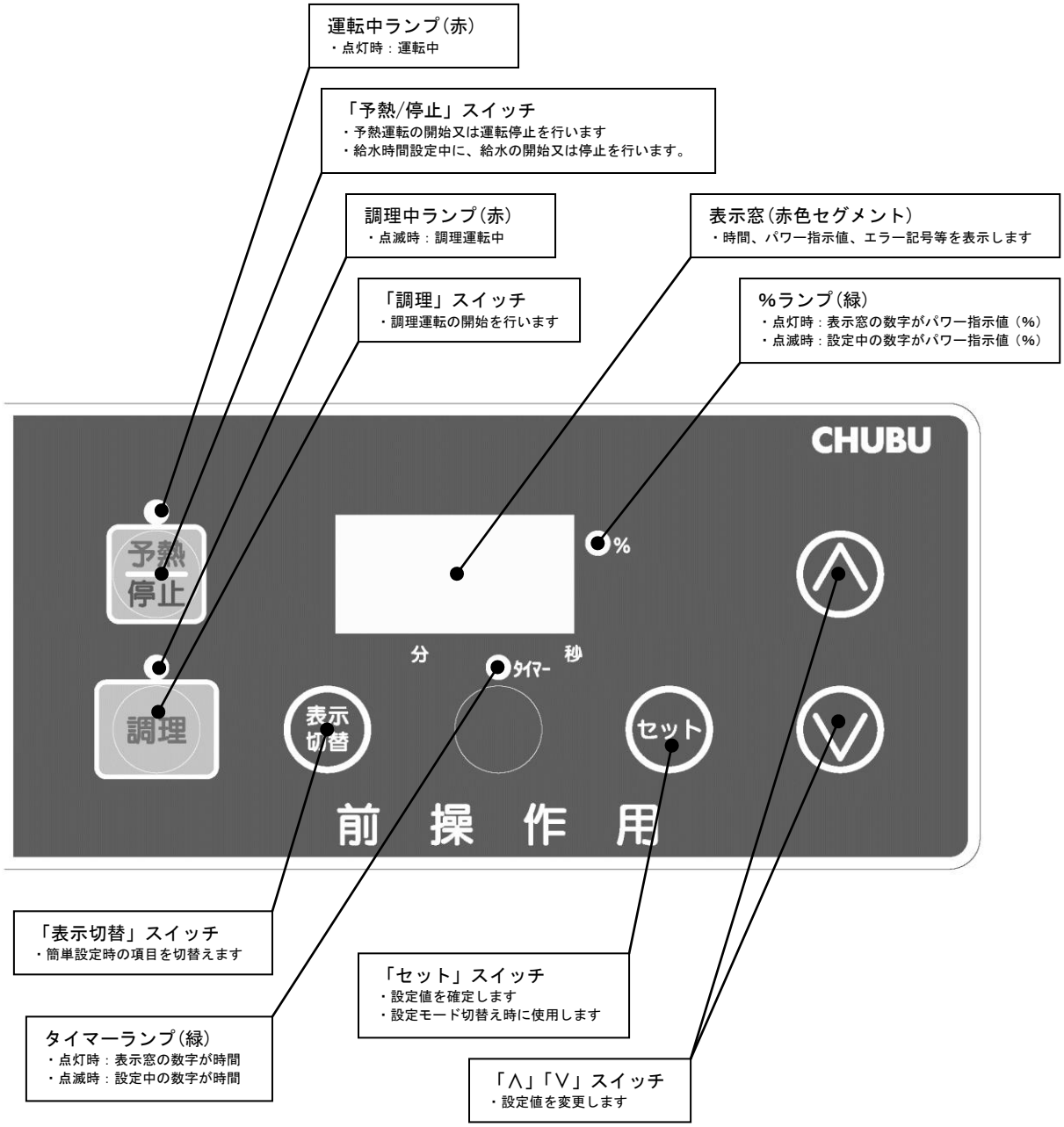
■本体





お願い
・ラベル類をはがさないで下さい。
・本体に貼付けのラベルがはがれたり、文字が消えたりした場合は販売店より購入し貼り替えて下さい。

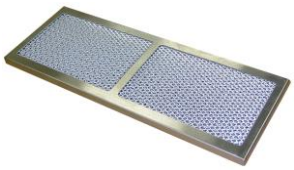
■操作パネル


運転中ランプ(赤)
・点灯時：運転中
「予熱/停止」スイッチ
・予熱運転の開始又は運転停止を行います
・給水時間設定中に、給水の開始又は停止を行います。
調理中ランプ(赤)
・点滅時：調理運転中
表示窓(赤色セグメント)
・時間、パワー指示値、エラー記号等を表示します
「調理」スイッチ
・調理運転の開始を行います
%ランプ(緑)
・点灯時：表示窓の数字がパワー指示値（%）
・点滅時：設定中の数字がパワー指示値（%）
CHUBU
予熱
停止
調理
表示
切替
セット
%
分
タイマー
秒
前 操 作 用
「表示切替」スイッチ
・簡単設定時の項目を切替えます
タイマーランプ(緑)
・点灯時：表示窓の数字が時間
・点滅時：設定中の数字が時間
「セット」スイッチ
・設定値を確定します
・設定モード切替え時に使用します
「∧」「∨」スイッチ
・設定値を変更します

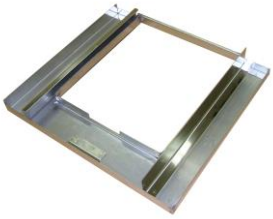
■付属品

取扱説明書（本書）

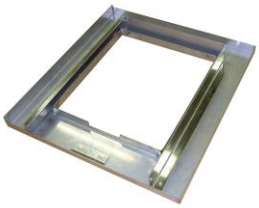
高周波利用設備許可申請書類



吸気フィルター

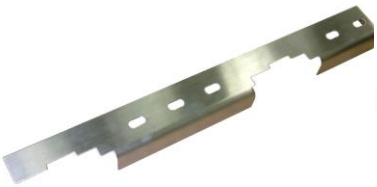


皿ガイド（前）



皿ガイド（後）

カス受け（２ケ）

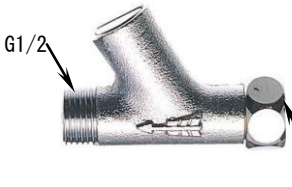


給水チューブカバー

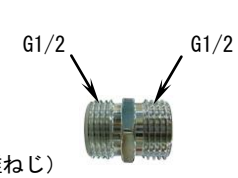
焼成皿（２枚）

焼成皿用蓋（２枚）

ストレーナー
（付属品）



Yストレーナー
（オプション）



ニップル
（オプション）

焼成皿ハンドル
（オプション）

水道工事にて使用する部品です

■お使いになる前に

■据付工事終了時の確認

・下記について、専門業者と一緒に確認して下さい。
・本製品の電源プラグには、元電源（漏電遮断器）が接続されている事を確認して下さい。元電源（漏電遮断器）の「取扱説明書」は保管して下さい。
・アース線が確実に接続されている事を確認して下さい。
・給水口に止水栓が接続されている事を確認して下さい。
・操作方法を確認し、取扱説明書（本書）を保管して下さい。
・高周波利用設備許可申請をして下さい。

■運転前の確認

１．吸気口、排気口がふさがれていないか確認します。
　●吸気口は、機器前面の吸気フィルター部を確認します。
　●排気口は、機器後上方部又は背面部を確認します。
２．機器のガタツキを無くします。
　●底面に取付けられているレベルアジャスターを調節し、機器を水平にし、ガタツキを無くします。
３．吸気フィルターを確認します。
　●吸気フィルターが取り付けられている事を確認します。
４．止水栓を開きます。
　●水道の止水栓を開き、本製品に水を供給します。
５．電源を投入します。
　●電源プラグを接続する又は元電源（漏電遮断器）を ON にします。

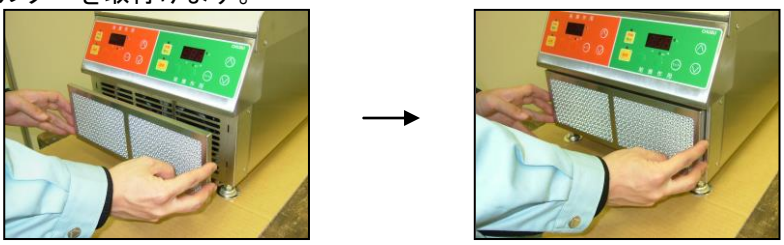
お願い
初めてお使いになる時は、保管時にホコリ・ゴミなどが付着している恐れがありますので、本製品や付属品を清掃してからご使用下さい。

■ご使用方法

■運転前の手順

１．吸気フィルターの取付け

●フィルターを取付けます。

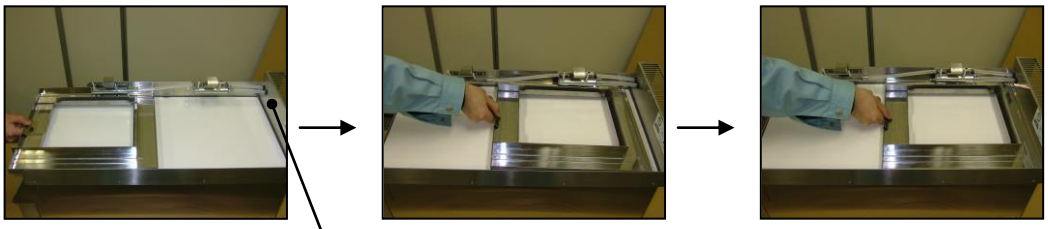


２．皿ガイドの取付け

●皿ガイド（後）を取付けます。

・前方よりバックガードに突き当たるまでスライドして取付けます。

・スライド中、バックガードまでスライドできずに止まる事があります。この場合、皿ガイドの手前を少し上げてスライドして下さい。



●皿ガイド（前）を取付けます。

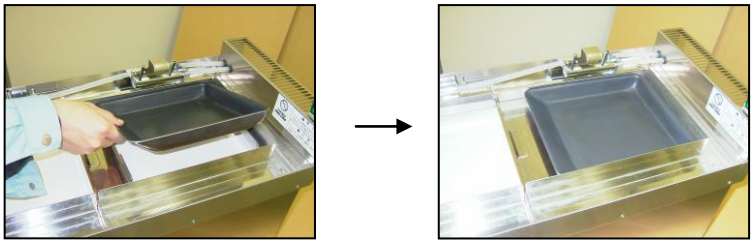
・前方より皿ガイド（後）に突き当たるまでスライドして取付けます。

・スライド中、皿ガイド（後）までスライドできずに止まる事があります。この場合、皿ガイドの手前を少し上げてスライドして下さい。

３．焼成皿の取付け

●皿ガイドの開口部に焼成皿を取付けます。

・焼成皿の淵の角度が緩い側を手前にし、左側から皿ガイドの開口部にはめ込みます。



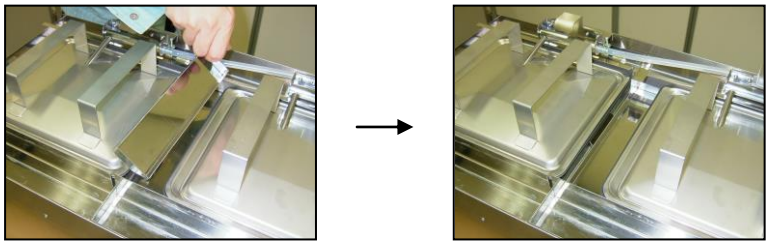
４．焼成皿用蓋の取付け

●給水ノズルに焼成皿用蓋を差込んで取付けます。

・焼成皿用蓋を取付けましたら、焼成皿に確実に蓋ができるか確認します。

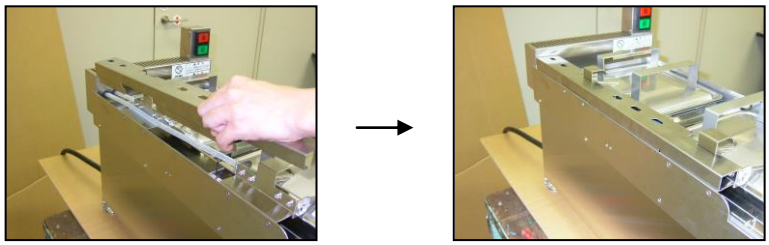
５．カス受けの取付け

●皿ガイド前側（焼成皿の手前側）にカス受けをを取付けます。



６．給水チューブカバーの取付け

●給水チューブを保護する為、給水チューブカバーを取付けます。



７．給水量、調理時間、調理パワー、調理後保温パワーの設定

●運転停止中に「表示切替」スイッチを押します。

・「表示切替」スイッチを押すごとに、表示窓に【.】→【－１－】→【－２－】→【－３－】→【－４－】→【.】の順に番号が表示され、表示後、番号に対応した設定値が点滅表示されます。

・番号に対応する設定内容は次の通りです。

【－１－】：給水時間（量）【設定可能数値：0～99.9 秒】

【－２－】：調理時間【設定可能数値：0 分 0 秒～9 分 59 秒】※１

【－３－】：調理中のパワー指示値【設定可能数値：0～100%】※１

【－４－】：調理後保温のパワー指示値【設定可能数値：0～100%】※２

※１：１段階目調理の時間，パワー値が設定されます。

※２：１段階目及び２段階目の調理後保温パワー値が同じ値で設定されます。

●設定値を変更します。

・設定値表示時、「∧」「∨」スイッチを押すと、設定値を変更できます。
→設定中は、点滅表示となります。

・【－１－】：給水時間設定中に、「予熱/停止」スイッチを押すと、設定された時間給水を行います。

・「セット」スイッチを押すと、設定値を確定し、表示窓が【.】の点滅表示となり設定を終了します。

ご注意

・給水時間（量）の設定は、前焼成用・後焼成用で同じ時間設定をしても、電磁弁の個体差により、同じ給水量とならない場合があります。

・毎回、給水量が変化する場合は、ストレーナーの目詰まり又はご使用の水道圧変動が大きい可能性があります。

・具合が悪い場合は、販売店にご連絡下さい。

■運転の手順

１．焼成皿を予熱します。

●操作パネルの「予熱／停止」スイッチを押し、焼成皿を予熱します。
→運転中ランプ（赤）が点灯します。
→表示窓に、予熱終了までの時間が表示されます。

●予熱が終了すると、焼成皿の保温運転（予熱後保温運転）を開始します。
→表示窓に、保温終了までの時間が表示されます。

２．焼成皿に餃子を並べ、調理します。

●焼成皿に餃子を並べ、焼成皿用蓋をします。

●「調理」スイッチを押すと、餃子の焼成を開始します。
→給水ノズルから焼成皿に給水を開始します。
→調理中ランプが点灯します。
→運転中ランプ（赤）が点灯し、調理中ランプ（赤）が点滅します。
→表示窓に、調理終了までの時間が表示されます。
【ご注意】
・調理中に「調理」スイッチを押すと、調理を再スタートし、再度給水を開始します。

３．調理が終了したら餃子を取り出します。

●調理が終了すると、ブザーが１５秒間鳴り、同時に調理ランプが１５秒間点滅し、調理終了をお知らせします。
→ブザーが鳴っている時に、「セット」「∧」「∨」のいずれかのスイッチを押すと、ブザーが停止し、調理ランプが消灯します。

●調理が終了したら、焼成皿用蓋を開け、餃子を取出します。

●調理終了後は、焼成皿の保温運転（調理後保温運転）を開始します。
→運転中ランプ（赤）が点灯し、調理中ランプ（赤）が点滅します。
→表示窓に、餃子提供可能までの時間が表示されます。
【ご注意】
・表示窓が「０.」になっても、設定された時間（２段回目調理後保温時間）だけ焼成皿の保温運転を継続します。

４．次の焼成に備えます。

●餃子を取出したら、次の焼成の為に焼成皿を清掃します。

５．運転を停止します。

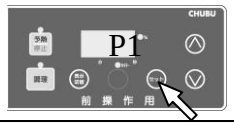
●運転中に「運転 入/切」スイッチを押すと、運転を停止します。
→運転中ランプ（赤），調理中ランプ（赤）が消灯し、表示窓が「.」の点滅表示となります。

■予熱設定の手順

1．運転停止中に「セット」スイッチを押しながら
「予熱/停止」スイッチを長押しします。
→予熱設定になると、運転中ランプが点滅します。

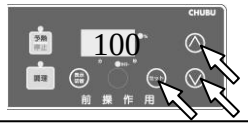
「セット」「予熱/停止」
スイッチ同時長押し

2．【Ｐ１】と表示されたら、長押ししているスイッチ
を離し、「セット」スイッチを押します。



「セット」スイッチ押し

3．予熱のパワー（%）値が表示されますので、「∧」「∨」
スイッチを押して、パワー値を設定し、「セット」
スイッチを押します

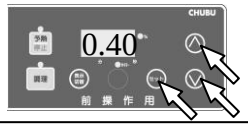


「∧」「∨」スイッチにて
値設定
「セット」スイッチにて
決定

4．予熱の時間単位（【０】又は【１】）が表示されます
ので、「∧」「∨」スイッチにて【０】又は【１】を
選択し「セット」スイッチを押します。
●時間単位は…【０】: 分.　　【１】: 分．秒

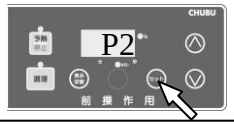
「∧」「∨」スイッチにて
値選択
「セット」スイッチにて
決定

5．４にて選択した時間単位（【分.】又は【分．秒】）
にて、予熱時間が表示されますので、「∧」「∨」
スイッチにて設定し、「セット」スイッチを押します。



「∧」「∨」スイッチにて
値設定
「セット」スイッチにて
決定

6．【Ｐ２】と表示されますので、「セット」スイッチを
押します。



「セット」スイッチ押し

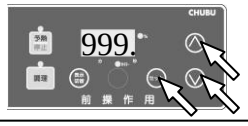
7．予熱後保温時のパワー（%）値が表示されますので、
「∧」「∨」スイッチを押して、パワー値を設定し、
「セット」スイッチを押します。

「∧」「∨」スイッチにて
値設定
「セット」スイッチにて
決定

8．予熱後保温の時間単位（【０】又は【１】）が表示
されますので、「∧」「∨」スイッチにて【０】又は
【１】を選択し「セット」スイッチを押します。
●時間単位は…【０】: 分.　　【１】: 分．秒

「∧」「∨」スイッチにて
値選択
「セット」スイッチにて
決定

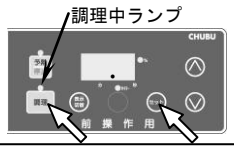
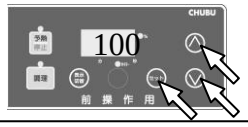
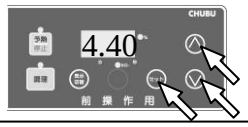
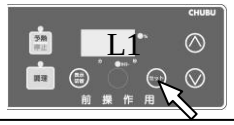
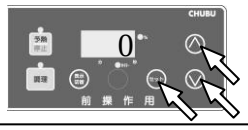
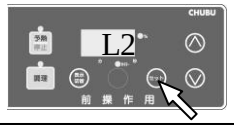
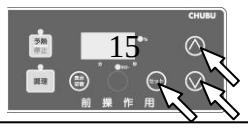
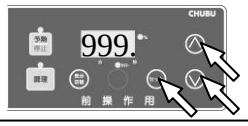
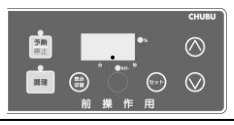
9．８にて選択した時間単位（【分.】又は【分．秒】）
にて、予熱後保温時間が表示されますので、「∧」
「∨」スイッチにて設定し、「セット」スイッチを
押します。



「∧」「∨」スイッチにて
値設定
「セット」スイッチにて
決定

10. 予熱設定が終了し、表示窓が【.】の点滅表示となり
ます。
→運転中ランプが消灯します。

■調理設定の手順

1．運転停止中に「セット」スイッチを押しながら「調理」スイッチを長押しします。 →調理設定になると、調理中ランプが点滅します。		「セット」「予熱/停止」スイッチ同時長押し
2．【Ｌ０】と表示されたら、長押ししているスイッチを離し、「セット」スイッチを押します。		「セット」スイッチ押し
3．１段階目調理のパワー（%）値が表示されますので、「∧」「∨」スイッチを押して、パワー値を設定し、「セット」スイッチを押します。		「∧」「∨」スイッチにて値設定 「セット」スイッチにて決定
4．１段階目調理の時間【分．秒】が表示されますので、「∧」「∨」スイッチにて設定し、「セット」スイッチを押します。		「∧」「∨」スイッチにて値設定 「セット」スイッチにて決定
5．【Ｌ１】と表示されますので、「セット」スイッチを押します。		「セット」スイッチ押し
6．２段階目調理のパワー（%）値が表示されますので、「∧」「∨」スイッチを押して、パワー値を設定し、「セット」スイッチを押します。		「∧」「∨」スイッチにて値設定 「セット」スイッチにて決定
7．２段階目調理の時間【分．秒】が表示されますので、「∧」「∨」スイッチにて設定し、「セット」スイッチを押します。		「∧」「∨」スイッチにて値設定 「セット」スイッチにて決定
8．【Ｌ２】と表示されますので、「セット」スイッチを押します。		「セット」スイッチ押し
9．１段階目調理後保温のパワー（%）値が表示されますので、「∧」「∨」スイッチを押して、パワー値を設定し、「セット」スイッチを押します。		「∧」「∨」スイッチにて値設定 「セット」スイッチにて決定
10．１段階目調理後保温の時間【分.】が表示されますので、「∧」「∨」スイッチにて設定し、「セット」スイッチを押します。		「∧」「∨」スイッチにて値設定 「セット」スイッチにて決定
11．【Ｌ３】と表示されますので、「セット」スイッチを押します。		「セット」スイッチ押し
12．２段階目調理後保温のパワー（%）値が表示されますので、「∧」「∨」スイッチを押して、パワー値を設定し、「セット」スイッチを押します。		「∧」「∨」スイッチにて値設定 「セット」スイッチにて決定
13．２段階目調理後保温の時間【分.】が表示されますので、「∧」「∨」スイッチにて設定し、「セット」スイッチを押します。		「∧」「∨」スイッチにて値設定 「セット」スイッチにて決定
14．調理設定が終了し、表示窓が【.】の点滅表示となります。 →調理中ランプが消灯します。		

■お手入れ

ご注意
・必ず電源が入っていない事を確認し、各部が十分冷えてから行って下さい。

■日常のお手入れ

１．機器本体の清掃
●湿った布で拭いてください。
●汚れがひどい場合は、中性洗剤を布などにしみこませて拭いてください。
２．吸気フィルターの清掃
●吸気フィルターが汚れていれば、清掃してください。

ご注意
・吸気フィルターは必ず乾燥させてからご使用下さい。
・吸気フィルターを取り付けない状態で使用しないで下さい。

■点検

■１ヶ月に１回の点検

●本機に接続されている漏電遮断器のテストスイッチを押し、電源がＯＦＦとなる事を確認して下さい。

ご注意

・漏電遮断器が機能しない（ＯＦＦにならない）場合は、本機の使用を中止し、電気工事業社に漏電遮断器の修理を依頼して下さい。

■年に１～２回の点検

●アース線が切れたり、接続部が緩んだりしていませんか？
●電源コードがキズ付いたり、束ねたり、重いものを載せたり、挟み込んだり、汚れていませんか？
●電源は他の機器と共用していませんか？

ご注意

・異常が見られる場合は本機の使用を中止し､電気工事業社に修理を依頼して下さい。

■保管方法

●元電源を切り、直射日光を避け、湿気の無いところに保管下さい。
●給水ノズルの水出口部及び本機背面の給水口をテープなどでふさぎ、異物が混入しないように保護して下さい。

●長年ご使用の厨房・調理機器の点検を！

愛情点検

こんな症状はありませんか？

●スイッチを入れても運転しないことがある。
●運転中に異常な音や振動がする。
●いつもより製品が熱くなる。
●こげ臭い"におい"がする。
●電源コードを曲げると通電しないことがある。
●触れるとビリビリ電気を感じる。
●その他の異常・故障がある。

ご使用中止

故障や事故防止のため、電源プラグを抜く、またはブレーカーを切り、販売会社に点検・修理をご相談ください。

■移設・譲渡・廃棄

■移設

警　告

●移設は専門の業者か、最寄の販売会社に依頼すること
据付不備があると、水漏れ、感電、火災の原因になります。

専門業者

■譲渡

注　意

●このお使いになっている製品を他に売ったり、譲渡されるときは、新しく所有者となる方が安全な正しい使い方を知るために、この取扱説明書を製品本体の目立つ所にテープ止めすること

ﾃｰﾌﾟ止め

■廃棄

注　意

●廃棄は専門の業者か、最寄の販売会社に依頼すること
放置しますとケガの原因になります。

専門業者

■故障の見分け方と処置方法

警　告

修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理しないこと
異常動作してケガをしたり、修理に不備があると感電、火災などの原因になります。

分解禁止

お願い！ 故障かな？と思ったら、次の事をお調べください。それでも具合の悪いときは、販売会社または最寄の当社営業所へご連絡ください。

症状	原因	処置方法
給水しない	●止水栓が閉まっています。 ●水道が止まっています。 ●給水時間が適切でありません。	●止水栓を開いて下さい。 ●水道が止まっていないか確認して下さい。 ●給水時間を適切に設定して下さい。
皿ガイドが取付けられない	●皿ガイドの向きや前・後用を間違えています。 ●トッププレート（ガラス面）に異物が載っています。	●皿ガイドの向きを合わせ、前用、後用を適切に取付けて下さい。 ●トッププレート（ガラス面）の異物を取りのぞいて下さい。
餃子が上手く焼けない	●調理時間，パワー値が適切でありません。 ●給水時間（量）が適切でありません。	●調理時間，パワー値を適切に設定して下さい。 ●給水時間（量）を適切に設定して下さい。
表示窓に何も表示されていない	●漏電遮断器が OFF 又は電源プラグが接続されていません。	●配電盤にある漏電遮断器を ON 又は電源プラグを接続して下さい。
表示窓に、ＯＨと表示され運転を停止している	●吸気口からの吸気に不具合があり、ユニットの冷却ができていません。	●吸気フィルターを清掃して下さい。 ●予熱/停止スイッチを押すとエラーを解除します。
	●排気口（本体後部）が塞がれており、ユニットの冷却ができていません。	●排気口（本体後部）を確保して下さい。 ●予熱/停止スイッチを押すとエラーを解除します。
表示窓に、ＣＨと表示され運転を停止している	●吸気口からの吸気に不具合があり、コイルの冷却ができていません。	●吸気フィルターを清掃して下さい。 ●予熱/停止スイッチを押すとエラーを解除します。
	●排気口（本体背面）が塞がれており、コイルの冷却ができていません。	●排気口（本体後部）を確保して下さい。 ●予熱/停止スイッチを押すとエラーを解除します。
表示窓に、ＬＵと表示され運転を停止している	●機器に必要な電圧が低い。 ●単相電源で運転している。	●正しい電源を使用してください。
表示窓に、Er1 と表示され運転を停止している	●制御ユニット内のＣＰＵメモリーに異常が発生しました。	●配電盤にある漏電遮断器をＯＦＦ→ＯＮして、電源を再投入して下さい。
表示窓に、Er2 と表示され運転を停止している	●制御ユニット内のＣＰＵに異常が発生しました。	
機器の金属部分に触れるとピリピリと不快な感触がある	●アースが接続されていません。	●電気工事業社にアース工事を依頼して下さい。
焼成皿から異音がする	●共振現象により異音がする場合がありますが、故障ではありません。	――――――
機器内部からチリチリと音がする	●火力を絞って運転している時に、チリチリと音がしますが、故障ではありません。	――――――

■仕様

品名	ＩＨ餃子焼き器
型式	ＤＧ２２ＷＡ
外形寸法	幅 325×奥行 750×高さ 429～643㎜
定格消費電力	５ｋＷ
定格電源	３相２００Ｖ　５０/６０Ｈｚ
電源容量	５．６ｋＶＡ
ブレーカー容量	２０Ａ
質量	約３７ｋｇ
電源プラグ	アメリカン電機㈱　４２２２ＲＷ
適用コンセント	アメリカン電機㈱　４２２４ＲＷ
給水口	雄ねじ　Ｇ１/２
付属品	吸気フィルター、皿ガイド（前）、皿ガイド（後） カス受け（２ケ）、焼成皿（２枚）、焼成皿用蓋（２枚） 給水チューブカバー、取扱説明書、高周波利用設備申請書 ストレーナー、Ｙストレーナー（オプション）、 ニップル（オプション）、焼成皿ハンドル（オプション）

■設置・工事

⚠ 警　告

●本製品は住居用（家庭用）として使用することができません

電波法無線設備規則第 65 条第 3 号の規定により、本製品は※住居用（家庭用）
として使用することができませんのでご注意ください。
※住居とは、人が移住する目的の場所であり、店舗や会社は住居にあたりません。

禁　止

●吸気口、排気口をふさがないこと

ユニット等の温度が高くなり、やけどする恐れがあります。

禁　止

●湿気の多い所や、水のかかり易い場所に据付けないこと

絶縁低下から漏電、感電の原因になります。

湿気禁止

●粉塵、オイルミストの多い場所には設置しないこと

機器が故障し、火災・漏電の原因になります。

禁　止

●アース工事を必ず行うこと

アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが
不完全な場合は、感電の原因になります。（電気工事業社による第３種設置工事が必要です）

アース工事

●電気配線工事は、電気工事の法的有資格者が行うこと

接続・固定が不完全な場合、漏電・火災の原因になります。

厳　守

●電源は三相２００Ｖを使用すること

異なる電源を使用すると機器が異常発熱し、機器の破損・火災の原因となる恐れがあります。

専用電源

●メガーテストを行う場合は測定方法に注意してください

元電源をＯＦＦにし測定電圧２５０Ｖで測定してください。
（測定電圧５００Ｖでは正確に測定できません）

注　意

●製品１台ごとに１個の漏電遮断器を設置すること
（推奨漏電遮断器定格電流： 20A、感度電流 30mA）

この工事をしないと、異常時に配線が発熱し、火災の原因になります。

設置厳守

⚠ 注　意

●丈夫で平らな不燃構造の床の上に水平になるように据付けること

据付けに不備があると転倒・落下によるケガなどの原因になることがあります。

水平設置

●付属品以外のものを本機に取付けないこと

焼成皿・焼成皿用蓋・皿ガイドなど付属品以外のものを本機に取付けると、誤作動を起こし、
正常な運転ができなくなる恐れがあります。

禁　止

●開梱

・床が丈夫で平らな場所で開梱して下さい。
・保護シートやテープをはがしてください。

【お願い】
・ラベル類は、はがさないで下さい。
・機器に損傷や不足部品がない事を点検して下さい。
【お願い】
・点検の結果、不具合があれば販売店に連絡して下さい。

●運搬

・移動するときは、底板から持ち上げて下さい。

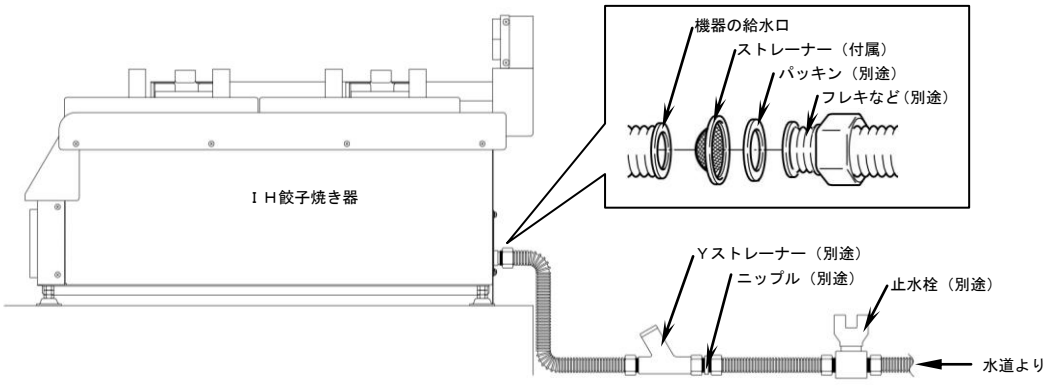
【お願い】
・本体底板以外の部分を持つと変形したり、破損する恐れがあります。
・ハンドリフトで運搬するときは、板を使用して下さい。

●設置

・床面が丈夫で平らなところに水平になるよう据付けて下さい。
・吸気、排気口を確保し、風通しを良くして下さい。
・直射日光の当たるところや、発熱機器（コンロなど）のそばには、設置しないで下さい。
・やむをえず発熱機器（コンロなど）の隣に設置する場合は、直接熱が伝わらないように設置して下さい。
・レベルアジャスターが本体底面に取り付けてあります。水平になるよう調整下さい。
・付属品を取付けて下さい。

●水道工事

・下図を参考にし、本体背面の給水口に、付属のストレーナー及びパッキン（別途）を挿入し、水道を接続して下さい。



【お願い】

・本製品の給水口を点検するために水道を止水する必要がありますので、本製品の近傍に必ず止水栓（別途）を設置して下さい。
・本製品に異物が混入しないよう、Ｙストレーナーを設置して下さい。
・フレキなど配管材を本機に接続する前に、配管材内部のゴミなどを確実に洗い流して下さい。
・水道圧の変動が大きい場合は、給水量が毎回変化する場合があります。水道圧の変動が大きい場合は、減圧弁などを設置し、本製品への水圧変動が少なくなるようにして下さい。

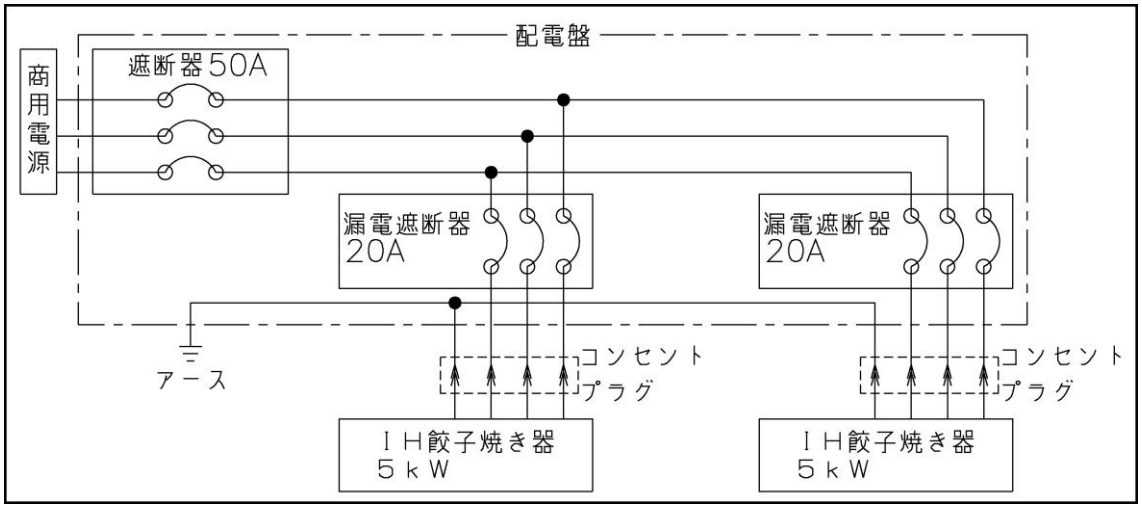
●電気工事

・電気工事は、「電気設備に関する技術基準」「内線規定」にしたがい、下図を参考にし、必ず専用回路を設け、製品１台ごとに１台の漏電遮断器を接続して下さい。
・本機に接続の漏電遮断器は、定格電流 20A（地絡過負荷・短絡保護兼用型）のもので感度電流 30mA を使用して下さい。
・本製品の近傍まで、引掛防水コンセント（アメリカン電機㈱4224RW）を設置し、本製品の電源プラグと接続して下さい。本製品の電源コードは、本機背面より約 1500mm あります。

【お願い】

・コンセントには必ずアースを接続して下さい。
・アースはＤ種接地工事を施工して下さい。

■本機を２台設置の場合



■メモ

保　証　書

品　名	ＩＨ餃子焼き器
型　式	ＤＧ２２WA
お買上日	年　　月　　日
保証期間	１　年
お客様の住　所	
お名前	
販売会社住　所	

※必ず各欄をご記入下さい。

●故障が発生した場合は本書記載内容により修理いたします。

１．保証期間内は無料修理いたします。
ただし、次の場合は保証期間内でも有料になります。
・誤った使用目的・使用方法・改造による故障。
・落下・火災・地震など天災地変による故障。
・消耗部品の交換。　　・保証書のないもの。

２．保証期間後は、修理できる製品についてご希望により有料修理いたします。

３．保証書は紛失されても再発行いたしません。

４．保証書は日本国内で使用される場合のみ有効です。
（This warranty is valid only in japan.）

５．保証期間の内外に関わらず、機械の故障により発生した業務上の保証（操業保証）はいたしません。

CHUBU
株式会社 中部コーポレーション
〒511－0944　三重県桑名市大字芳ヶ崎字堂ヶ峰1533の1

アフターサービスについて

●保証書は記載内容をご確認の上大切に保管してください。紛失されても再発行は致しません。

●保証書にお買い上げ日、販売会社など所定事項の記入がないと有効とはなりません。記入がないときはすぐにお買い上げの販売会社にお申し出下さい。

●万一、故障した場合には、保証期間中は保証書の記載内容に準じて無料修理を致します。

●詳細は保証書をお読み下さい。

●保証期間内の修理などアフターサービスについてご不明のときは、お買い上げの販売会社、または、最寄りの当社営業所までご連絡下さい。

CHUBU
株式会社 中部コーポレーション
フード機器事業部／三重県桑名市大字芳ヶ崎字堂ヶ峰1533の1　〒511－0944
東 京／TEL　03(5833)9968　大 阪／TEL　06(6788)2251
名古屋／TEL　0594(32)1130　福 岡／TEL　092(474)1312